

部局目標 [2020年度]

局名	大阪拠点放送局
----	---------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	安全・安心のよりどころとなるニュース・番組を提供するとともに、より信頼される“公共メディア”を目指して、その基盤を整備します。	<p>◇新型コロナウイルスに関する多角的な報道、広域化・激甚化する台風・大雨等の自然災害への対応、阪神淡路大震災・東日本大震災の教訓を生かした震災報道など人々の安全・安心に役立つニュース・番組をさまざまな伝送路を利用して地域をはじめ全国・世界に発信。</p> <p>◇本部のバックアップ機能の充実・強化と南海トラフ巨大地震など 関西での災害時における情報発信に向けた機能強化・運用実施体制の充実。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	魅力あふれる関西の活性化にむけて、地域の課題に向き合い、地域により親しまれる多彩で質の高い放送・サービスを展開し、より幅広い視聴者への接触を図ります。	<p>◇複雑・多様化する地域の動向と課題を的確にとらえ、判断のよりどころとなるようなニュース・情報を提供。</p> <p>◇ドラマ・芸能、歴史・文化、福祉、経済、科学・医療、スポーツやアジア関連情報などの放送・サービスを充実させ、地域や全国、さらに世界に発信。</p> <p>◇調査に基づいた地域向けニュース、番組、編成の改善。</p> <p>◇関西の豊富で貴重なコンテンツ素材を生かし、スーパーハイビジョンやインターネット展開など新しいサービスを充実。</p> <p>◇関西の課題に継続的に取り組む公共メディアキャンペーンの実施。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	視聴者のみなさまとの積極的なコミュニケーションを強化し、NHKの理解促進と公平負担の推進を図ります。	<p>◇より効果的・効率的な営業体制の構築や営業対策の充実・強化など営業改革を徹底し、全局一体となって受信料制度の理解促進に努め、受信料の公平負担を推進。</p> <p>◇地域に根ざしたイベントや広報など、視聴者との結び付きの強化に向けた双方向のコミュニケーションを通じて、NHKに対する親しみを一段と向上。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	近畿ブロック全体で「業務改革」「働き方改革」を一層すすめます。既存業務の見直しに仕組み生産性向上にむけたパワーシフトを推進します。長時間労働に頼らない組織風土と、ワーク・ライフ・バランスや多様な働き方の実現を目指します。	<p>◇既存業務をブロック全体で見直すことにより効率的で生産性の高い業務体制の構築を推進。</p> <p>◇働き方改革とワークライフバランスを推進するため、適正な勤務管理を進めるとともにオフィス改革などより働きやすい職場環境を整備。</p> <p>◇コンプライアンスを徹底し、公共メディアを担う強じんな組織を構築。</p> <p>◇広域支援を強化し、地域サービスの充実と働き方改革に貢献。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名	京都放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	京都府民にとって最も身近で最も信頼できる情報メディアになるために、「ニュース630京いちにち」を軸に、府民の役に立つ情報の発信に更に努め、視聴者と直接触れ合うタッチポイントの充実にも全力で取り組みます。	◇正確・迅速なニュース報道に加え、地域の課題の中から個別にテーマを定め、年間を通して継続的に取材し、課題解決に向けた 情報発信に取り組みます。 ◇視聴者から寄せられた疑問を出発点にしたりレポート枠を新設し、身近で役に立つ情報の発信に努めます。 ◇放送の要であるNC副調の大規模更新工事を無事故で完遂します。 ◇1階の8Kプラザを視聴者との接点の場として位置づけ、年間を 通して昨年度を上回るイベント&特別受信公開を実施します。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	地域改革3年目の目標に掲げられた「地域を守り育てるハブになる」ことを目指し、京都の地域性に合った公共メディアキャンペーンを始動させ、自治体や地域社会とも連携した取り組みを強化します。	◇文化庁の京都への全面移転をにらみながら、京都が育んできた「文化」をテーマに自治体や地域社会と連携したキャンペーンを推進し、「地域を守る公共メディア」としての存在感を高めます。 ◇放送と連動して、キャンペーンを促進するイベントや広報を充実させます。 ◇京都から見える日本の課題を先駆的に掘り起こし、630や番組 で展開します。 ◇ローカルから全国放送への展開に加え、世界的に関心が高い文化 観光都市・京都からの国際発信にも意欲的に取り組みます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	京都府内の支払い率のさらなる向上を目指すと共に、各部の徹底的な既存業務の見直しによって効果的なリソース配分を実現し、重点目標の達成を支えます。また、仕事への意欲を最大化できるように、ワークライフバランスの取れた職場環境作りに全局で取り組みます。	◇12年連続の営業全目標達成を実現します。 ◇放送と連動した営業の取り組みにより、各種法人や団体との連携 を強化し、翌年度の新たな取次への基盤を作ります。 ◇各部の既存業務を見直してスクラップを作り、重点目標の予算に上積みできるようにします。 ◇事務改革を進め、業務の集約化によって生まれる余力を、視聴者コミュニケーションの充実に振り向けます。 ◇働き方改革の推進とともに、仕事への満足感の高い職場を実現す るための新たな方策に取り組みます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名 神戸放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	視聴者のニーズを的確に把握し、地域社会やメディアと連携しながら、地域放送・サービスの充実を図ります。	文研・地域放送総合調査による地域ニーズの把握 地域メディアが撮影した映像の活用 防災士会や河川国道事務所と連携した災害情報発信 8Kの高精細映像で地域の魅力を紹介する番組や企画の制作 630の接触率分析とフィードバックによる接触率の向上 2021年に開催が予定されている東京五輪・パラリンピック・ワールドマスターズゲームズの関連番組や企画の制作	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	放送やイベントも活用しながら公共放送への理解促進を図り、受信料の公平負担と支払い率の向上を実現します。	NHKのど自慢(加古川市)の開催 ケーブル事業者との関係強化と団体一括契約の推進 新規エリア型法人の開発と既存事業者の要員拡大 豊岡国際演劇祭など地域イベントにおける受信公開の実施 事業所などの契約適正化と新設大学との受信契約 受信料の公平負担による推計世帯支払い率の向上	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	経営資源を効果的効率的に活用して、視聴者コミュニケーションを推進するとともに、職場環境を改善します。	視聴者対応業務と資金審査業務の高度化・集約化 課題解決に向けた自主編成予算の機動的な再配分 視聴者プラザを活用した子育て世代向けイベントの開催 スマートオフィス化による職場環境改善 在宅勤務制度などを活用した多様な働き方の推進 効果的効率的な予算執行による計理率の向上	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名 和歌山放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	◇「和歌山に貢献します」 質の高い多彩なサービスの実現と地域から信頼される放送局づくりに全力を挙げて取り組みます。	◇大規模災害の発生時や発生が予想される際には、地域の視聴者が求める情報を最優先し、テレビ・ラジオ・インターネットを活用して正確かつ迅速に届けます。そのための設備強化や体制整備を継続します。 ◇南海トラフ巨大地震に備えるため、地域の「防災放送局」として防災や減災につながる放送やイベントを実施します。 ◇大規模災害に備え地域との連携を推進します。 ◇視聴者満足度の高い番組やイベントで心豊かな地域社会の実現に貢献します。 ◇和歌山の魅力や課題、地域ならではの取り組みを全国に発信するとともに国際放送に展開します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	◇「視聴者とのつながりを深めます」 多様な取り組みで視聴者との絆を深め地域の期待に応えます。	◇視聴者のご意見・ご要望をしっかり受け止め、放送や事業運営に反映し視聴者とのつながりを深めます。 ◇公開番組やイベント、ホームページなど多様な取り組みで視聴者との絆を深め、NHKに対する満足度・信頼度を高めます。 ◇幅広い世代に公共メディアの役割や受信料制度への理解促進を図り公平負担を徹底します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	◇「働き方改革をさらに推進します」 新しい働き方を組織に根づかせ、創造性を発揮できる職場環境をつくります。	◇長時間労働に頼らない職場環境をつくります。 ◇ワーク・ライフ・バランスを充実させ豊かな人間性を育みます。 ◇業務の実施にあたっては、それぞれ効果や効率性などを検証しながら進め、業務改革や見直しに積極的に取り組みます。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名	奈良放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域放送や安全・安心情報の充実、視聴者コミュニケーション活動の推進により、新奈良放送会館を地域の拠点にします。	<p>◇地域課題を深掘りし、奈良の活性化につながる情報発信を強化します。</p> <p>◇防災・減災情報など視聴者の安全・安心につながる情報を、テレビ、ラジオ、L字、データ放送、ネットでマルチ発信します。</p> <p>◇「ならナビ」で視聴者参加の機会を増やします。新会館の公開スペースや隣接施設等を活用したイベントを行います。</p> <p>◇地域指標の「平日18時」の接触・質的評価の向上と、同じく「地域の活性化への貢献」の向上を目指します。</p> <p>◇奈良関連の全中番組を奈良県域編成し、地域放送の充実を行います。</p> <p>◇新放送会館の設備整備に万全を期し、安定運用を図るとともに、日常的な訓練や放送設備の保守管理により緊急報道への対応力を維持、強化します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
2	スーパーハイビジョンを一層活用し、奈良の魅力を国内外に発信します。	<p>◇世界遺産、文化財、豊かな自然や暮らしなど奈良の魅力を、スーパーハイビジョンで積極的に取材・制作します。</p> <p>◇スーパーハイビジョンのリソース管理、企画等の提案、マルチユースを計画的に行うプロジェクト体制を作ります。</p> <p>◇8K受信公開などでスーパーハイビジョンの認知や普及促進を更に進めます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	奈良県民の期待に応える取り組みを通して、受信料の公平負担の徹底へ全力で取り組みます。	<p>◇5年連続の営業全目標の達成を成し遂げます。</p> <p>◇営業経費削減のために「訪問によらない取次」を昨年より増加させます。</p> <p>◇信頼ある営業活動のために「お客様の声」削減指標を達成します。</p> <p>◇10月実施する2.5%の値下げを営業の契機ととらえ、視聴者の理解促進に努めるとともに業務を円滑に進めます。</p> <p>◇放送や事業等との連携で、受信料制度への理解を促進します。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	多様な働き方を推進し、活力ある奈良放送局にします。	<p>◇定型業務の見直しや効率化を図り、年間総労働時間を削減します。</p> <p>◇拠点局と連携し、定型業務の集約化、標準化を進めます。</p> <p>◇スマートオフィスを実現し、多様な働き方の可能な環境を整えます。</p> <p>◇日々の業務の点検と風通しの良い職場環境実現により、コンプライアンスを徹底します。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名	大津放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	防災、減災報道を強化し地域の安心安全に貢献していきます。	◇台風や地震等の災害時には放送やネットなど多様な手段を用い必要なニュース・情報を県内に確実に届けていく。 ◇いざという時に迅速に対応できるよう全局体制の訓練を通しさらに習熟をあげる。 ◇おうみ発630を中心に防災・減災に役立つ情報提供を充実させる。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の期待に応える放送局をめざし、課題解決や自然、文化、歴史の魅力など公共メディアとして多彩なコンテンツを発信していきます。	◇地域の声に真摯に耳を傾けながら取材・制作にあたり情報の社会的基盤としての役割を果たす。 ◇大河ドラマ「麒麟がくる」関連の情報発信とイベント、広報の積極的な展開。 ◇4K8K高精細映像による琵琶湖をはじめとする豊かな自然や文化・歴史の記録と発信。 ◇東京五輪・パラリンピックをはじめ期待される滋賀県ゆかりのスポーツ選手の活躍を伝えていく。 ◇地域の多様な情報を発信し受信料の理解促進・公平負担につなげていく。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	新大津放送会館への移転を契機とし創造的な職場環境の確立と業務の効率化をさらに進めていきます。	◇地域サービスの充実へ職種の垣根を越えて連携する体制を確立。 ◇働き方改革の推進と同時に、職員ひとりひとりが意欲を高め専門性を発揮できる職場環境へ。 ◇継続的に既存業務の洗い出しを進め拠点放送局と連携しながら効率化を図る。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓